広報 ひらつか
No.1307
2026 11月 第3金曜日号

自分たちで見つけて守る学校安全

「安全点検表」を手に教室の安全点検をしているのは、土屋小学校の環境安全委員会の児童たちです。みんなが安全に過ごせるよう、校内に危険がないかのチェック（左下囲み）をしています。今号では、児童と共に学校生活や災害時の安全への取り組みを進める土屋小学校のセーフティプロモーションスクール（SPS）を紹介します。

何をチェックしているの？

①掲示物の画びょうが取れていないか
②紙などが床に落ちていないか
③水などがこぼれたままになっていないか

▼チェック中

④教室のテレビや棚、昇降口の靴箱などの角に付いているスポンジが取れていないか

⑤掃除ロッカーは片付いているか
⑥机の横に荷物をかけていないか

①～⑥を確認して、その場で直したり（写真）、各教室の黒板に注意点を書いて呼びかけたりします。

目次

1～3面…特集 みんなでつくる安全な学校…県内で初めてSPSに認証・再認証された土屋小学校。全国的に高く評価されている同校の安全への取り組みを紹介します。
4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉
8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」

広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。

●発行　平塚市　●編集　広報課　●法人番号 3000020142034　〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 FAX0463-23-9467
●配布のお問い合わせは、ミッド ☎0120-350311（月～金曜日、午前9時30分～午後5時）

あったか ひらつか Hiratsuka City

みんなでつくる安全な学校

学校安全のための取り組みが、全国的に高く評価されている土屋小学校（土屋3004―2）。児童と教職員が共に、学校・地域で生活する中での安全を考えて行動しています。今号では、同校が先進的に取り組む、安全な学校づくりを紹介します。

問 教育指導課☎35―8120



県内で初めて認証取得

令和4年2月に県内で初めてSPSの認証（1期目）を取得した土屋小学校。3年間の認証期間の後も再認証（2期目）を受け、継続して学校安全に力を入れて取り組んでいます。

活動の始まりは、市教育指導課に学校安全担当が新設された令和2年。学校安全を推進するモデル校に指定されました。認証に向けて同課のバックアップを受けつつ、先進校の視察など、SPSを学びながら学校安全への取り組みをスタートさせました。

評価される二つの特色

令和7年11月、「学校安全（文部科学大臣）表彰」を受賞した土屋小。学校独自の安全管理体制と、児童が自ら自助・共助を考え行動する安全教育という特色ある取り組みが、高い評価を受けました。同課課長代理の石田智之さんは「児童たちが主体性を持ち、教職員と共に考え、SPSの活動を展開する認証校は全国的に珍しいんです」と説明します。

市内に水平展開

土屋小は市内の学校へ取り組みを発信しています。教職員向けの説明会や、児童同士の交流など、発信方法はさまざま。吉沢小学校（上吉沢465）では、令和9年度のSPS認証取得に向けた準備が進むなど、新たな動きも生まれています。

また同課も土屋小のSPSでの事例を、市内の小・中学校などに向けて展開しています。「SPSの認証を目指すかどうかにかかわらず、各校の教育環境に合わせた安全への取り組みにつながったら、と思います」。

教職員の高いアンテナ

水平展開の効果もあってか、市内の教職員に良い影響が広がっているそう。「学校からの問い合わせや意識調査を通して、教職員の皆さんが子どもたちの安全に対するアンテナを高く持ってくれていると感じています」。

また、学校安全の取り組みに深く携わった教職員や児童は、いつかは異動や進学で活動場所が変わります。それぞれの場所で考え方・取り組みが根付いていくことが期待されています。「現場を経験した人の発信で広がったものは、継続性が高いです」と石田さん。「各校が情報を取り入れたり、現場レベルで普及したりできるよう、学校安全を担う部署としての情報発信と、サポートを続けていきます」と、これからを見据えます。

SPSを知っていますか？

SPSはセーフティプロモーションスクールの略。日本独自の学校安全の考え方を基本とする、安全推進を目的とした取り組みです。日本SPS協議会による認証を取得することで、SPS認証校となります。認証校は、7の指標（組織・方略・計画・実践・評価・改善・共有）に基づき、学校独自の安全の推進に向け、目標と計画の達成に取り組んでいます。

教職員も児童も主体的に行動



学校安全主任の梅津先生

土屋小の特色である安全管理体制は、「学校安全スタンダード」（下段囲み）という指針に沿ったものです。教職員が、安全教育を先進的に進めている学校としてのプライドを持ち、児童が安心して活動できる環境を整えています。土屋小の梅津大貴（うめつだいき）先生は「私たちも安心感を持って教育ができます。児童との時間に集中できているのは、安全な環境があってこそなんです」と話します。学校安全コーディネーターを務める梅津先生をはじめ、全教職員が指針を徹底することは、安全教育の大前提。土屋小らしい主体性のある児童たちの活動には欠かせないものです。

憧れのSPSサポーター

土屋小では4～6年生全員が、日本SPS協議会から「SPSサポーター」に委嘱されています。一人一人が自分や周りの安全を守るリーダーとして活動しています。「1～3年生にとって、SPSサポーターは憧れの存在なんです」と梅津先生。「1年生から『僕たちが安全に過ごせるのはサポーターのおかげ』という言葉を聞いた時は感動しました」と続けます。当たり前、

学校安全委員会（全認証校に設置）
各団体から代表を選出した組織。
教職員から選出される学校安全コーディネーターが中心となり「生活安全」「交通安全」「災害安全」の分野ごとに、3年程度の目標・計画、年間計画を具体的に策定。

土屋小の場合
教職員　児童　PTA　警察関係者
地域（自治会など）　避難所運営委員

学校安全スタンダード
全教職員が実行する学校安全の指針。

SPSサポーター
4～6年生全員を委嘱。自分の安全管理はもちろん、1～3年生の安全を守る活動などをする。

環境安全委員会
「生活安全」に取り組む委員会。5・6年生の5人が活動（1面）。

土屋小のSPSを簡易解説

事件も事故も未然に防ぐ 学校安全スタンダード

「学校安全スタンダード」とは、土屋小学校が独自に作成した安全管理の指針です。毎年4月1日、職員会議で読み合わせをし、全教職員で共有しています。異動してきた教職員も「安全を守る活動」「安全に対する指導」を理解しやすいよう、「児童を守るために自分がすべきこと」が具体的に書かれています。教職員間で安全指導にブレが生じないのが、この指針の強みです。

毎年の改善でもっと安心な環境へ

平成30年に作成して以降、必要に応じて内容を改善しています。改善点の多くは学校生活の中で教職員自身が見つけ、考えたもの。「危険を未然に防ぐ」をキーワードに、児童がより安全に過ごせるよう、教職員が積極的に提案しています。結果として児童のけがは減少傾向で、特に通院を伴うものは大幅に減りました。

児童が安心して過ごせる安全指針の一部を紹介



休み時間の安全確認

けがをする確率が高い運動場（外）には、万が一の際に迅速な対応ができるよう、1～3人の管理職・教務が必ず出て見守る。

教育活動上の安全管理

①クラスが校舎外・各階に分かれる場合や、危険が伴う授業（理科・家庭科など）の場合は、複数の職員で支援できる体制をとる。
②校庭などに出る際は、いったん昇降口で整列して担任が引率。戻る時も人数確認後、担任と昇降口に移動する。

防犯対策 ドアの施錠

児童がいる時間は、正門（オートロック）・通用門・昇降口・体育館への渡り口・職員玄関を施錠。休み時間は昇降口の鍵と扉を開閉。













目標は避難所の設営

9月25日　①～④市災害対策課からダンボールベッドと避難テントの組み立て方などを学んだ。防災備蓄倉庫の備品を運び出すところからスタート。

9月30日　⑤⑥HUG（ハグ）訓練。災害時、避難所になる体育館での避難者受け入れ方法を考えた。

↙に取り組むサポーターの姿は、1～3年生の目指したい姿となっているのです。

子ども視点の危険発見

活動は年間計画に沿った内容を教職員が提案したり児童と一緒に考えたりしています。土屋小が掲げる「作ろう　世界一安全な学校」をテーマに、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3分野に向き合っています。

認証1期目の取り組みは、児童にとって身近で考えやすい「生活安全」がメイン。児童が校内の安全点検をして、「けがをしないため」の工夫を施しました。具体的には、廊下・階段の進行方向を示す黄色のテープ、棚や備品の角に付いたスポンジ、危険を知らせるピクトグラムの掲示物…など。児童のアイデアが校内にあふれています。当時の5年生の希望で、点検は校外にも拡大。「交通安全」の取り組みとして、通学路を中心にした危険マップの作成などもしました。



進行方向を示して衝突などを防止する、廊下や階段に貼られている黄色のテープ。定期的に修繕している。令和3・4年度のSPSサポーターが危険を見つけて考えた校内の工夫例

私たちが引き継ぎます

認証2期目に入り、活動の比重が「災害安全」に移ってからも、児童の「生活安全」の活動は続いています。その中心にいるのが、環境安全委員会の児童です。月1回の点検などで、校内に安全を呼びかけます。同委員の5年生は委員になった理由を「みんなの安全を守れる活動がしたかったのと、楽しそうだったから！」と元気よく話します。

成長する「助け合い」の心

校内でのけがは、SPSの取り組みが始まる前に比べ、大きく減りました。「児童には互いに声をかけ合う意識が広がっています。行動の前に、危険かどうかを考える力が身に付いているんです」と梅津先生。児童たちの成長に誇りを持ちます。「課題に対して協力し合うのは、学校ですべき大切な経験です。だからこそ主体的に動き、助け合う姿に対する『いいね』は、今後もきちんと伝えていきたいです」。



岩本さんの防災ポーチ。水を使わずに衛生管理できる備品や、趣味のお絵描きができるスケッチブックなどを入れている

全校で取り組もう

2期目から力を入れている「災害安全」。現在の6年生が4年生の時に取り組んだのが「防災ポーチ作り」でした。作り方は地域のボランティア団体に習っています。その6年生は今年、3年生に作り方をレクチャー。現在、校内の防災備蓄倉庫には全校児童の防災ポーチが保管されています。環境安全委員の6年生、岩本理那（りな）さんは、「防災ポーチは、被災時に生き残るために必要な物を、みんなが自分なりに考えて準備しています。全校で作ることは、6年生で話し合って決めました」と話します。

共助を地域へ広げる

校内で当たり前になった共助の考え方は、「災害安全」に取り組む中で、地域へと向いています。本年度、防災備蓄品の使い方などを市災害対策課から学んだ5・6年生は、来年2月、実際に避難所の設営などに挑戦します。梅津先生は「児童たちは『災害時に地域の方を助けるのは、避難所になる学校に一番詳しい自分たちだ』という思いで頑張っています。私たち教職員も一緒に考え、サポートし続けていきます」と力強く語ります。

児童の幸せを願って

土屋小学校　五十嵐透校長

土屋小学校の安全教育は「自助」だけでなく、「共助」の心を持って実際に行動することを大切にしています。学校生活の中で、1～3年生の安全を守るためには何をすべきかを考える共助。災害が起きた時、または起きる前に地域の方のために今できることは何かを考える共助。これらに取り組む中で、SPSサポーターの児童には、自分だけでなく、自分以外の人たちの命と安全を守ろうとする気持ちが醸成されると考えています。



校内にも地域にも児童が積極的に発信

「学び合い」で「できる！」を経験

当校の児童が「自分ごと」として学校安全に取り組んでいるのは、普段から「学び合い」が当たり前になっているからです。授業では、教師が教えるだけでなく、児童同士が教え合い、全員が課題を達成できるように学習に取り組みます。

児童たちがこれから先、多様な人と良い関わり合いを持ち、時に人の力を借りながら、自己決定をできる力を育んでいます。生涯にわたって、幸せな人生を児童に歩んでほしいという願いから、主体的・対話的な学びを重視しています。児童たちの能力は非常に高く、実際、SPSの活動では教職員の予想を超えるアイデアがたくさん生まれているんですよ。



五十嵐校長

市内外に土屋小のSPSを発信

毎年、市の校長会の他に、文部科学省などから依頼を受け、全国の研修会やセミナーで、当校のSPSを話す機会を多くもらっています。児童と教職員が共に、安全を推進している学校が増えることで、より多くの児童の幸せな未来につながる、という強い思いで発信しています。危険を未然に防ぐ重要性など、「学校安全」への認識が、市内はもちろん、全国の学校でも広まることを期待しています。

募集

応募方法は右側

応募方法

- 応募のある記事は事前に応募が必要です
- 必要事項は郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号です
- メールの場合、✉@以下に、city.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください
- eは、電子申請システム(e-kanagawa)。右の2次元コードからもアクセスできます
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所○○課で届きます
- 市役所の開庁時間は、午前8時30分～午後5時です

市有地を一般競争入札で売却します

売却物件　①田村2―548―6、宅地。準工業地域。363・38㎡。参考価格1億64万円。建物解体条件付き②桜ケ丘109、雑種地。第1種中高層住居専用地域。922・10㎡。参考価格829万円。

入札日時　令和9年1月21日(木)午後2時。入札に必要な書類など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

応募　令和8年12月14日(月)～令和9年1月8日(金)に、市ウェブにある申込書などを、直接、市役所4階の**資産経営課**☎21―8763へ。

放課後児童クラブ(学童保育)の入所申請

令和9年4月に、放課後児童クラブへ入所を希望する方の申請(1次)を受け付けます。詳しくは、市ウェブをご覧いただくか、各放課後児童クラブまたは青少年課☎71―5950へお問い合わせください。

応募　令和8年11月24日(火)～12月4日(金)に、市ウェブや市役所1階の青少年課にある申請書を、直接、**希望する放課後児童クラブ**へ。

市民活動推進補助金の申請団体

令和9年度に市内で活動する市民活動団体・地域活動団体を補助金で支援します。対象団体や助成額など、詳しくはお問い合わせください。

応募説明会　令和8年12月12日(土)午前10時～正午。市民活動センター(見附町1―8)。30人(当日先着順)。

応募　補助金の申請は、令和9年1月26日(火)までに、市ウェブや市民活動センター・市役所7階の**協働推進課**☎21―9618にある申請書を、事前連絡の上、同課へ。

小学生向けプログラミング講座

タブレットを使って、自分で描いた魚たちを画面上の水族館で泳がせます。

12月20日(日)午後2時～3時30分。なぎさふれあいセンター(袖ケ浜20―1)。市内在住の小学校1～3年生10人(先着順)。飲み物。

応募　11月21日(土)午前9時から、電話または直接、袖ケ浜20―1**南図書館**☎26―8740へ。

自分に合った仕事を見つけませんか

職業適性や興味関心がある分野を知り、仕事選びのヒントを見つけます。

火曜日。文化公園会館(浅間町12―41)。15～49歳で仕事を探している方、各4人(先着順)。

興味検査　12月8日午前10時30分～正午。

適性検査　12月22日午前10時～11時。

応募　11月24日(火)午前10時から、電話で、**県西部地域若者サポートステーション**☎0465―32―4115へ。

かながわハートフルフェスタinにのみや

トークショーなどで人権を考えませんか。要約筆記や、2歳以上の未就学児の保育もあります。

12月6日(日)午後1時～4時。二宮町生涯学習センターラディアン(二宮町二宮1240―10)。400人(当日先着順)。

応募　保育(先着6人)を希望する方は、12月3日(木)までに、電話で、**県共生推進本部室**☎045―210―4961へ。

ぬいぐるみおとまり会

おはなし会に参加した後、ぬいぐるみを図書館に預けます。ぬいぐるみは夜の図書館を探検します。返却日にはぬいぐるみが写ったアルバムがもらえます。ぬいぐるみが選んだ絵本も貸し出します。

西図書館(山下3―29―1)。小学生以下の方15人(抽選・初めての方を優先・未就学児は保護者同伴)。ぬいぐるみ一つ。

おはなし会　12月13日(日)午後2時～2時45分。

ぬいぐるみの返却　12月15日(火)以降の午前9時～午後6時。

応募　11月21日(土)午前9時～29日(日)午後6時に、電話または直接、**西図書館**☎36―3555へ。

競輪場イベント キッズフリマ

子どもだけで実際に売り買いをするフリーマーケットで、買い物をしませんか。保護者の見守りスペースがあります。短い待ち時間で入場したい方は、キッズフリマのウェブで優先入場パスを予約してください。詳しくは、競輪場ウェブ(2次元コード)をご覧ください。

11月28日(土)・29日(日)、午前11時～正午・午後2時30分～3時30分。荒天中止。ABEMA(アベマ)湘南バンク(久領堤5-1)。小学生以下の方。

問　**キッズフリマ**☎03-3384-0675

ながら見守りにご協力ください

ウオーキングや犬の散歩、買い物などをしながら、日常生活の中で子どもの見守り活動をしませんか。特に、「愛の鐘」が流れる午後4時30分ごろの見守りにご協力をお願いします。

問　**教育指導課**☎35-8120

西湘バイパスや国道134号などの交通規制

湘南国際マラソンに伴う交通規制です。

12月6日(日)午前8時～午後3時45分(一部区間は午前6時～午後4時30分)。西湘バイパス西湘二宮IC～国道134号江の島入口間の上下線、新湘南バイパス下り線など。詳しくは、湘南国際マラソンのウェブ(2次元コード)をご覧ください。

問　**湘南国際マラソン事務局**☎0466-21-6667

舞台技術体験ワークショップ



音響や照明など、舞台を裏で支える技術を学びます(写真)。

令和9年1月22日(金)～24日(日)、全3回、午前10時～午後5時(22日は午後6時30分～8時)。ひらしん平塚文化芸術ホール(見附町16-1)。高校生以上で全ての日程に参加できる方24人(先着順)。2,000円。動きやすい服装・靴で参加してください。

応募　令和8年11月22日(日)正午から、**ひらしん平塚文化芸術ホール**☎20-9273のウェブで、応募してください。

市内駅伝に参加しませんか



①地区対抗の部と②実業団の部があります。コースやチーム編成など、詳しくは市ウェブ(2次元コード)をご覧ください。

令和9年1月10日(日)午前8時15分～正午。雨天決行。①は6区間で27.7㌔②は5区間で26.0㌔。開会式はレモンガススタジアム平塚(大原1-1)・閉会式は山城中学校(高村166)。

応募　令和8年11月30日(月)までに、市ウェブや市役所7階の**スポーツ課**☎31-3060FAX34-5522✉sports@などにある応募用紙を、ファクス・メールまたは直接、同課へ。